

(令和4年刊行)

ひらね119

(消防年報 概要版)



枚方寝屋川消防組合



お出かけは マスク戸締り 火の用心

【2022年度全国統一防火標語】

「ひらね119」は、火災、救急、救助の活動をはじめとする消防の仕事を市民の皆さんにご理解いただくために、消防年報のダイジェスト版として編集したものです。本書が消防行政をご理解いただく一助になれば幸いです。

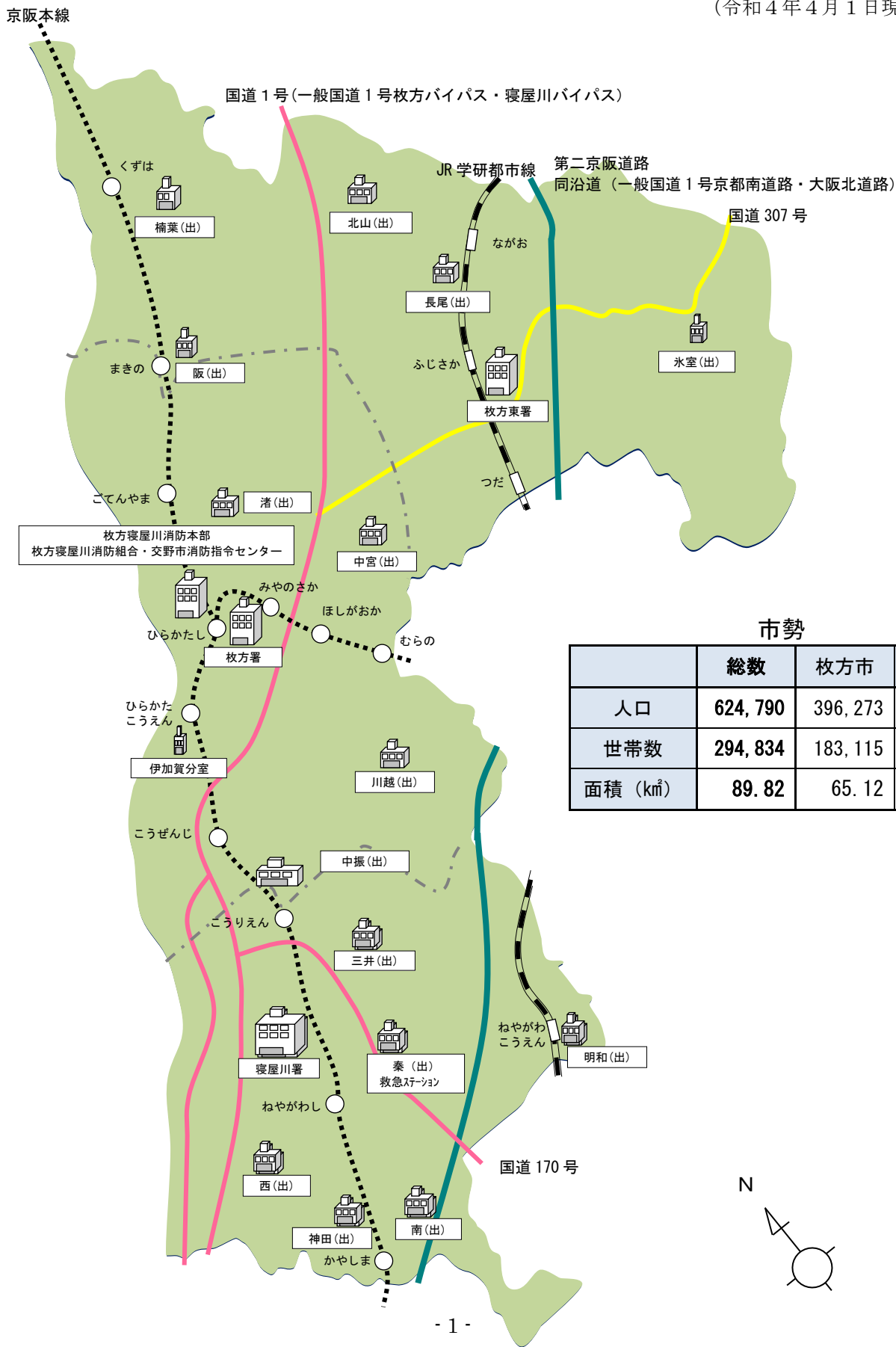
※なお、日付のないデータは、令和3年12月31日現在のものです。

目 次

1 管内図及び市勢	1	12 警 備	13
2 組 織	2	(1) 消防隊の活動状況	
3 消防歳出予算	3	(2) 消防水利	
4 消防庁舎	4	13 火災概況	15
5 令和3年中の主な活動記録 . . .	5	(1) 火災概況	
6 消防職員	6	(2) 月別火災件数	
7 消防車両	7	(3) 死傷者・損害状況	
8 防火対象物	8	(4) 過去10年間の火災発生状況	
(1) 防火対象物		(5) 出火原因	
(2) 消防同意		14 救 急	18
9 危険物	10	(1) 救急件数の動向	
10 査 察	11	(2) 救急活動状況	
11 119番等通報	12	(3) 救命率の向上	
(1) 119番等通報受信状況		(4) 「救急安心センターおおさか」	
(2) その他各種通報手段の状況		(5) ドクターカー事業	
		15 救 助	21
		16 消防団の概況	22

1 管内図及び市勢

(令和4年4月1日現在)

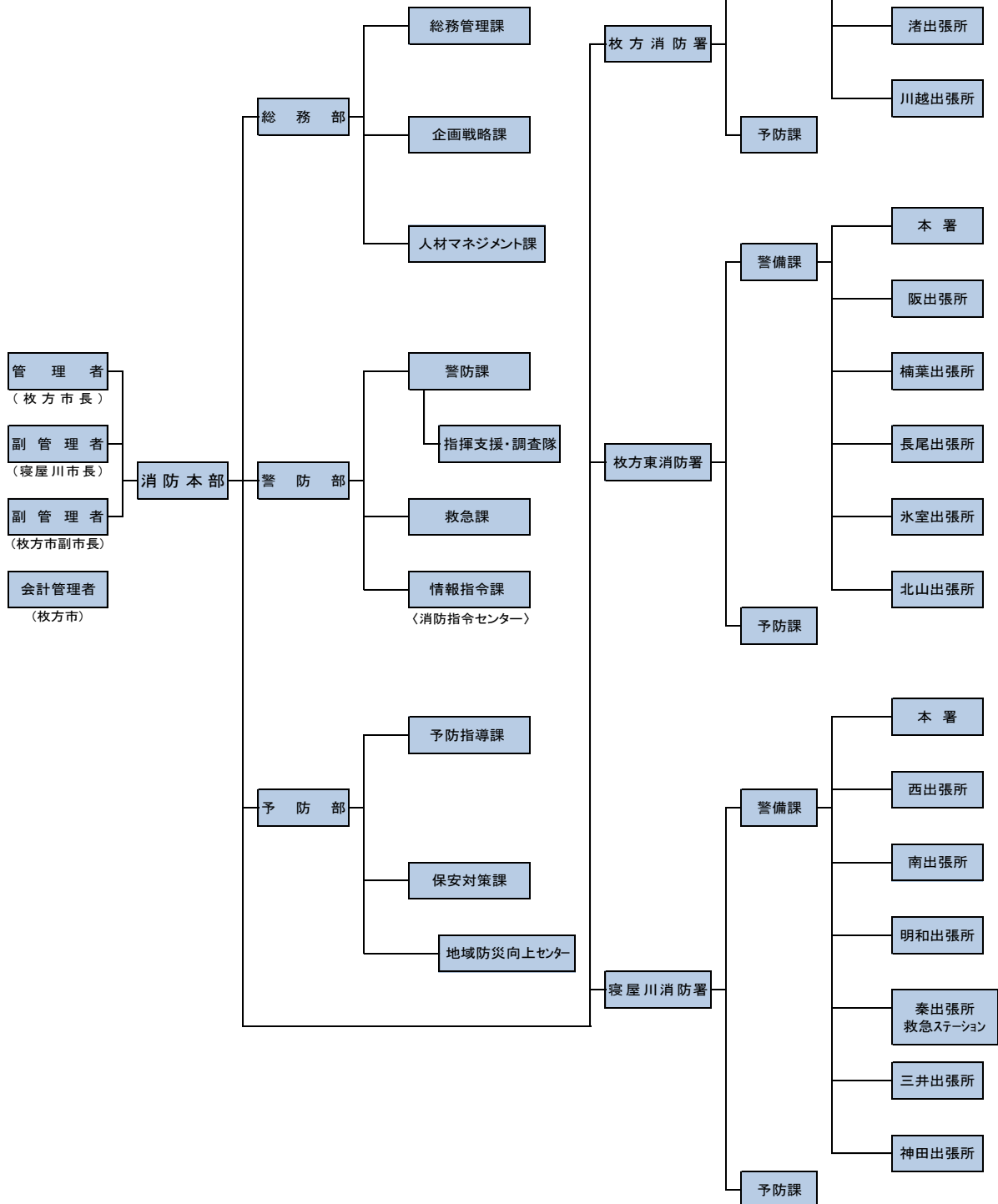


2 組

織

(令和4年4月1日現在)

枚方寝屋川消防組合議会	
派遣議員	枚方市 9名 寝屋川市 7名
監査委員	2名
公平委員会	3名



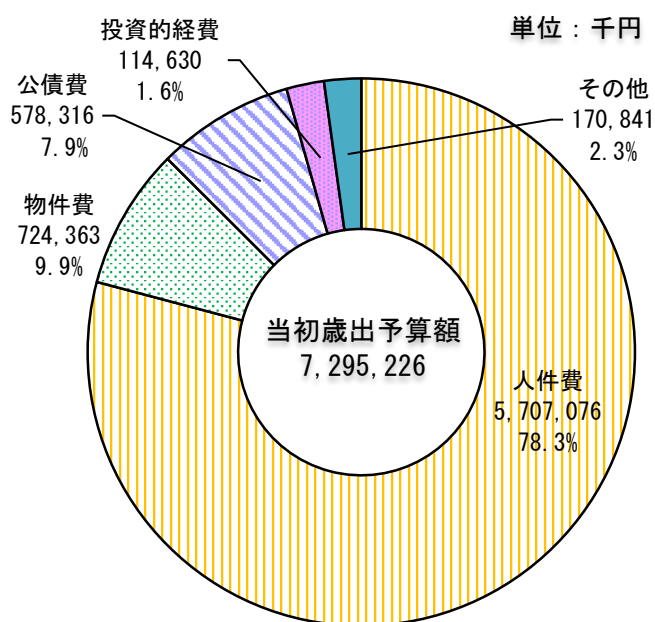
3 消 防 歳 出 予 算

令和4年度当初予算 72億9,522万6千円

新型コロナウイルスの影響により、多くの企業や自治体においてデジタル化が進み、社会の変革が加速的に進行しております。本消防組合においても、市民の安全・安心を守ることはもちろん、めまぐるしく変化する社会的ニーズや諸課題に対応するためにICT技術の導入を進めます。

市民サービスや職員の働く環境の向上を図り、新たな感染症の流行や大規模災害の発生に動じることのない、将来にわたり持続可能な消防行政の運営を実現するための各施策の諸経費等を計上した予算編成としています。

歳出予算性質別比率



《主要事業》

- ・ ヒートストレス対策用資器材の配備
- ・ 電子決裁・文書管理システムの導入

過去5年間の消防組合歳出予算・決算額

区 分 年 度		歳出予算・決算額 (単位：千円)	左記の財源内訳 (単位：千円)			人口1人当たりの 消防費 (単位：円) (当初予算で算出) (毎年4月1日の人口)
			枚方市負担金	寝屋川市負担金	その他収入	
平成30年度	当 初	7,540,099	4,411,907	2,858,108	270,084	11,827
	決 算	7,397,469	4,327,790	2,803,475	266,204	
令和元年度	当 初	7,550,826	4,354,682	2,826,602	369,542	11,906
	決 算	7,440,265	4,297,960	2,789,954	352,351	
令和2年度	当 初	7,462,939	4,319,224	2,790,027	353,688	11,823
	決 算	7,220,266	4,196,194	2,711,153	312,919	
令和3年度	当 初	7,445,410	4,407,013	2,836,152	202,245	11,857
	決 算	—	—	—	—	
令和4年度	当 初	7,295,226	4,299,493	2,751,893	243,840	11,676

4 消 防 庁 舎

(令和4年4月1日現在)

区分 署所別	所在地（電話）	敷地面積（㎡）	構造・階数	建築面積 （㎡）	延面積 （㎡）	建築年月日
消防本部 枚方寝屋川消防組合 ・交野市消防指令 センター	〒573-1191 枚方市新町1丁目7番11号 Tel.072-852-9903（以下市外局番同じ） FAX852-9948（4階）、852-9925（2階）	1343.1	耐火造・地上5階	735.2	3038.6	平28.1.22
伊加賀分室	〒573-0056 枚方市桜町3番40号	365.8	耐火造・地上2階	216.1	351.7	昭56.12.14
枚方消防署	〒573-0027 枚方市大垣内町2丁目10番22号 Tel.072-852-9933、FAX852-9927	2099.5 別棟 ガレージ兼倉庫	耐火造・地上5階 耐火造・地上2階	587.0 235.6	2468.9 365.9	昭46.1.18 昭58.4.15
中宮出張所	〒573-0005 枚方市池之宮3丁目4番28号 Tel.852-9832、FAX852-9834	359.7	耐火造・地上2階	224.1	479.97	平29.3.15
中振出張所	〒573-0094 枚方市南中振1丁目16番30号 Tel.852-9826、FAX852-9828	727.2	耐火造・地上4階・ 地下1階	420.1	1250.5	平2.6.26
渚出張所	〒573-1175 枚方市上野3丁目8番2号 Tel.852-9829、FAX852-9831	700.0	耐火造・地上2階	418.7	791.3	平6.3.1
川越出張所	〒573-0083 枚方市茄子作北町7番22号 Tel.852-9820、FAX852-9822	477.2	耐火造・地上2階	197.3	388.3	昭53.4.1
枚方東消防署	〒573-0121 枚方市津田北町2丁目23番3号 Tel.852-9999、FAX852-9929	3255.6 主訓練塔 補助訓練塔 プールポンプ室	耐火造・地上4階 耐火造・地上8階 準耐火造・地上5階 耐火造・地上1階	636.9 36.4 26.1 16.1	1991.9 270.4 130.5 16.1	昭61.4.1 昭62.4.1 昭62.4.1 昭62.4.1
阪出張所	〒573-1144 枚方市牧野本町1丁目10番34号 Tel.852-9846、FAX852-9848	410.0	耐火造・地上2階	207.1	405.1	昭54.6.1
楠葉出張所	〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目29番1号 Tel.852-9849、FAX852-9851	支所の一部使用 (501.8)	耐火造・地上2階	290.3	497.9	昭50.5.6
長尾出張所	〒573-0163 枚方市長尾元町2丁目13番6号 Tel.852-9843、FAX852-9845	531.3	耐火造・地上2階	202.2	421.9	昭56.10.24
氷室出張所	〒573-0113 枚方市宗谷1丁目14番1号 Tel.852-9840、FAX852-9842	474.0	耐火造・地上2階	253.5	457.2	昭58.1.28
北山出張所	〒573-0171 枚方市北山1丁目67番15号 Tel.852-9824、FAX852-9825	1001.6	耐火造・地上2階	540.1	826.6	平13.4.1
寝屋川消防署	〒572-0039 寝屋川市池田2丁目11番73号 Tel.852-9966、FAX852-9928	3260.9 車庫	耐火造・地上4階 耐火造・地上1階	835.9 34.02	2352.6 34.02	昭46.1.18 平21.3.24
西出張所	〒572-0063 寝屋川市春日町20番22号 Tel.852-9860、FAX852-9862	306.6	耐火造・地上2階	170.6	346.9	昭56.5.1
南出張所	〒572-0823 寝屋川市下木田町16番17号 Tel.852-9866、FAX852-9868	421.2	耐火造・地上2階	235.1	426.6	昭54.7.2
明和出張所	〒572-0862 寝屋川市打上宮前町2番3号 Tel.852-9869、FAX852-9871	519.0	耐火造・地上4階	295.5	789.1	平9.3.22
秦出張所 救急ステーション	〒572-0848 寝屋川市秦町2番5号 Tel.852-9875、FAX852-9877	716.3	準耐火造・地上1階	239.2	237.5	平25.4.1
三井出張所	〒572-0019 寝屋川市三井南町25番2号 Tel.852-9872、FAX852-9874	683.5	耐火造・地上2階	294.0	444.0	昭50.5.23
神田出張所	〒572-0045 寝屋川市東神田町22番6号 Tel.852-9863、FAX852-9865	555.0	耐火造・地上2階	238.1	425.7	昭52.6.1

5 令和3年中の主な活動記録

月 日	内 容	備 考
1月10日	消防出初式	中止
1月15日～21日	防災とボランティア週間	
1月26日	文化財防火デー	
2月10日	第1回消防組合議会全員協議会	本消防本部
2月25日	定期監査（予防指導課、渚出張所、明和出張所）	
3月1日～7日	春季火災予防運動	
3月7日	消防記念日	
3月30日	第1回消防組合議会定例会	本消防本部
4月16日	第160回大阪府下消防長会総会	書面会議
4月30日	第68回全国消防長会近畿支部総会	書面会議
5月13日	全国消防長会会計監査	書面会議
5月27日	第73回全国消防長会総会	書面会議
6月6日～12日	危険物安全週間	
6月7日	第2回消防組合議会定例会	本消防本部
6月11日	大阪府危険物安全大会	中止
7月14日	枚方寝屋川消防組合防火委員会総会	書面会議
7月19日	第2回消防組合議会全員協議会	本消防本部
7月20日	第161回大阪府下消防長会臨時総会	大阪市消防局
9月11日	第49回消防救助技術近畿地区指導会	中止
10月9日	第49回全国消防救助技術大会	中止
10月27日	第70回全国消防長会危険物委員会	書面会議
11月4日	第3回消防組合議会全員協議会	本消防本部
11月10日	全国消防長会役員会	Web会議
11月9日～15日	秋季火災予防運動	
12月1日～19日	歳末警戒	
12月5日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練	兵庫県洲本市
12月20日～31日	歳末特別警戒	
12月24日	第3回消防組合議会定例会	本消防本部
12月28日	管理者訓示	

6 消 防 職 員

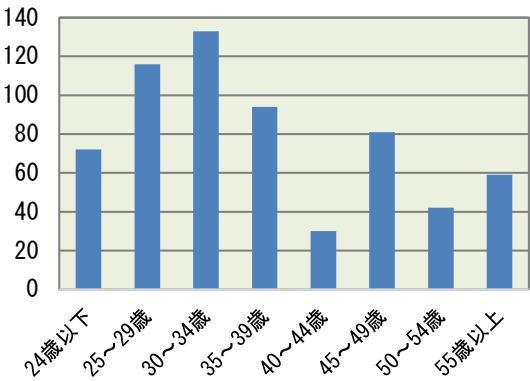
近年、消防を取り巻く環境は著しく変化し、市民の防災や安全に対するニーズもますます大きくなってきています。

我々、消防職員は、防災の担い手として一人ひとりが実務に精通し、幅広い知識と高度な技術、そして高い識見を持って、市民の負託に応えるために日夜、火災防ぎょ、救急、救助、予防、総務等の消防業務に取り組んでいます。

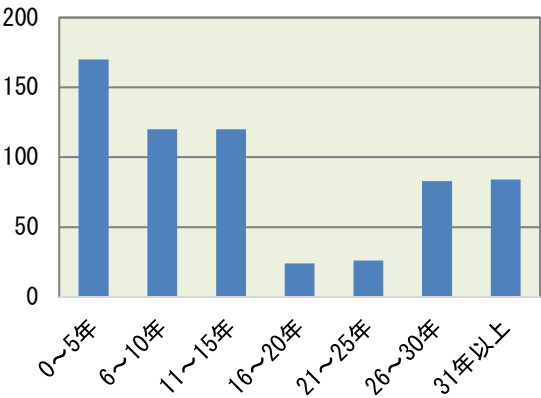
階級別職員数

総 数	消 防 吏 員									吏員以外 の職員	
	小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計	事 務 員
627	627	1	6	42	82	146	175	2	173	0	0

年齢別職員数



勤続年数別職員数



所属区分別職員数

所 属 区 分				人数	
総 数				627	
消 防 本 部	消防長			1	
	消防次長			2	
	総務部	部長		0	
		次長		2	
		総務管理課		7	
		企画戦略課		5	
		人材マネジメント課		6	
		総務部付派遣		1	
		人材マネジメント課付派遣		32	
		警防部	部長		1
	次長		2		
	警防課		日勤		4
			交替制		18
	救急課		3		
	情指令報課		日勤		3
			交替制		26
	予防部		部長		0
		次長		1	
		予防指導課		6	
		保安対策課		5	
		地域防災向上センター		0	
	小計			125	
枚 方 消 防 署	本署	日勤		12	
		交替制		46	
	中宮出張所			13	
	中振出張所			24	
	渚出張所			25	
	川越出張所			22	
	小計			142	
	枚 方 東 消 防 署	本署	日勤		13
交替制			48		
阪出張所			23		
楠葉出張所			27		
長尾出張所			21		
氷室出張所			14		
北山出張所			23		
小計			169		
寝 屋 川 消 防 署	本署	日勤		13	
		交替制		48	
	西出張所			24	
	南出張所			24	
	明和出張所			23	
	秦出張所救急ステーション			9	
	三井出張所			26	
	神田出張所			24	
	小計			191	
勤務形態別		毎日勤務		119	
		交替制勤務		508	

7 消 防 車 両

(令和4年4月1日現在)

	総 計	消 防 本 部	伊 加 賀 分 室	枚 方 消 防 署	中 宮 出 張 所	中 振 出 張 所	渚 出 張 所	川 越 出 張 所	枚 方 東 消 防 署	阪 出 張 所	楠 葉 出 張 所	長 尾 出 張 所	氷 室 出 張 所	北 山 出 張 所	寝 屋 川 消 防 署	西 出 張 所	南 出 張 所	明 和 出 張 所	救 急 ス テ ー シ ョ ン	秦 出 張 所	三 井 出 張 所	神 田 出 張 所
総 計	115	27	0	11	2	3	6	3	13	3	4	3	3	4	16	2	3	4	2	3	3	
CD－Ⅰ型 ポンプ車	17	－	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	－	1	1	
非 常 用 ポンプ車	6	－	－	1	－	－	1	－	1	－	－	1	－	－	1	－	－	－	1	－	－	
高 規 格 救 急 車	17	－	－	1	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
非 常 用 救 急 車	6	－	－	1	1	－	－	－	1	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	1	
救助工作車 Ⅲ 型	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
Ⅲ 型 化 学 車	2	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
38m級 梯子車	3	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	
15m級 梯子車	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
遠距離大量 送排水車	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	
水 槽 車	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
可搬ポンプ 積 載 車	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指 揮 車	4	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指揮支援車	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
調 査 車	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支 援 車 Ⅰ 型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支 援 車 Ⅱ 型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
非 常 用 救助工作車	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
そ の 他	43	20	－	4	－	1	1	1	5	1	1	－	－	1	6	－	1	1	－	－	－	

※ その他には、査察車、広報車、事務連絡車、地震車等が含まれます。

8 防 火 対 象 物

(1) 防火対象物

防火対象物とは、消防法第1条の目的を遂行するために、消防法に一定の基準を定め、特定防火対象物（不特定多数の者が出入する施設。例えば、百貨店・病院・ホテル等）と非特定防火対象物（特定の者しか出入しない施設。例えば、学校・事務所等）に大別され、それぞれの規模等により消防設備等（消火器・自動火災報知設備等）の設置や防火管理者が必要な建物です。

管内防火対象物の事業所数

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 計			16,336	9,797	5,500	4,297	6,539
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	6	5	5	0	1
	ロ	公会堂・集会場	358	226	117	109	132
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	－	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	56	38	34	4	18
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	－	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	4	2	2	0	2
3	イ	待合・料理店等	1	－	0	0	1
	ロ	飲食店	511	291	170	121	220
4		百貨店・マーケット等	568	337	168	169	231
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	51	42	8	34	9
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	6,188	3,728	2,295	1,433	2,460
6	イ	病院・診療所・助産所	250	159	92	67	91
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	290	178	87	91	112
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	471	276	142	134	195
	ニ	幼稚園・特別支援学校	55	37	14	23	18
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	656	391	222	169	265
8		図書館・博物館・美術館等	7	6	4	2	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	－	0	0	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	14	2	1	1	12
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	14	11	6	5	3
11		神社・寺院・教会等	181	115	58	57	66
12	イ	工場・作業場	1,259	712	268	444	547
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	－	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	392	235	168	67	157
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	－	0	0	0
14		倉庫	878	501	232	269	377
15		前各項に該当しない事業所	1,626	1,044	584	460	582
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	1,485	902	503	399	583
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	996	544	317	227	452
16の2		地下街	0	－	0	0	0
16の3		準地下街	0	－	0	0	0
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	17	15	3	12	2
18		延長50メートル以上のアーケード	2	－	0	0	2
19		市町村長の指定する山林	0	－	0	0	0
20		総務省令で定める舟車	0	－	0	0	0

(2) 消防同意

消防同意は、建築物の設計段階から防火面に関与し、必要に応じ現地調査を実施し、建築物の位置、構造及び設備のほか、防火に関する安全性の確保を図ることを目的としています。

令和３年中の消防同意件数

市 別 区 分		総 数	防 火 対 象 物			一 般 住 宅 等		
			小 計	枚方市	寝屋川市	小 計	枚方市	寝屋川市
総 数		1,910	287	157	130	1,623	969	654
工 事 別	新 築	1,835	215	128	87	1,620	968	652
	増 築	66	66	27	39	－	－	－
	用途変更	2	2	1	1	－	－	－
	その他	7	4	1	3	3	1	2

※ その他には改築、修繕、移転、模様替等の件数が含まれます。

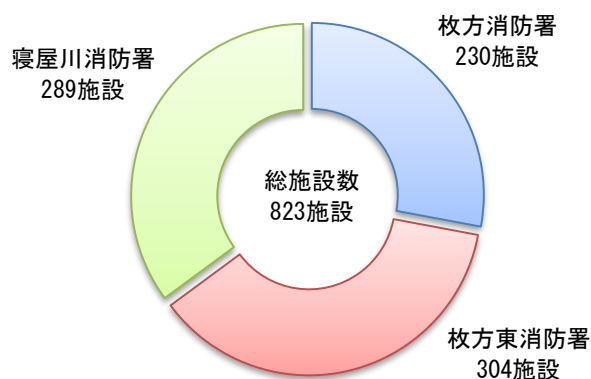
9 危 険 物

危険物規制事務は、主に危険物施設の許認可申請に係る事務とそれに伴う検査や各種届出事務及び危険物の取扱いに関する指導を行っています。

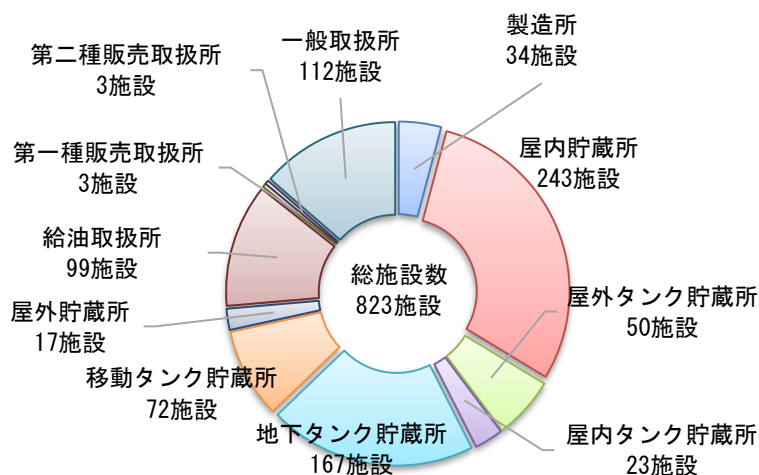
あらゆる生活分野に深く浸透している石油製品に代表されるように、危険物は現代社会生活に欠かすことのできない大きな貢献をしている反面、ひとたび取扱いを誤れば、火災や爆発等の甚大な災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

これらの危険物に起因する事故や災害を未然に防止し、市民生活の安全を確保するため、厳正な法令等の執行とともに、事業所の地域社会との協力関係の強化等を含めた自主保安管理体制の確立と関係者の防災意識の向上に努めることが重要です。

管轄署別施設数



区分別施設数



許認可事務処理状況

区 分 署 別	総 数	製造所等															仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		
		許 可		完成検査		仮 使用 承認 申請	完 成 検 査 前 検 査	再 完 成 検 査 済 証 等 交 付 申 請	廃 止 届	譲 渡 引 渡 届	品 名 数 量 又 は 指 定 数 量 の 倍 数 変 更 届	軽 微 な 変 更 届	選 任 ・ 解 任 届	危 険 物 保 安 監 督	予 防 規 程 認 可 申 請	作 業 従 事 者 届		危 険 物 取 扱 届	そ の 他
		設 置 許 可	変 更 許 可	設 置 許 可	変 更 許 可														
総 数	1214	11	116	8	108	104	33	1	9	1	20	171	102	15	37	464	14		
枚 方 署	614	3	61	3	56	57	-	-	5	1	2	77	29	3	15	294	8		
枚 方 東 署	315	6	25	4	28	19	25	1	2	-	14	43	36	5	10	93	4		
寝 屋 川 署	285	2	30	1	24	28	8	-	2	-	4	51	37	7	12	77	2		

※ その他には、危険物製造所等の氏名、名称、住所変更届、危険物製造所等における火気使用工事届等の事務処理状況が含まれます。

10 査 察

査察とは、火災を未然に防止し、火災による被害の軽減を図るため、当該防火対象物及び危険物施設への立入検査を行い、火災予防上の不備事項を指摘し、関係者に対して必要な指示、指導を積極的に行うものです。

用途別査察実施状況

防火対象物区分			市別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数				1,872	1,190	682
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		1	1	1
	ロ	公会堂・集会場		78	53	25
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等		0	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール		19	8	11
	ハ	風営法に規定する店舗その他これらに類するもの		0	-	-
	ニ	カラオケボックス等		0	-	-
3	イ	待合・料理店等		0	-	-
	ロ	飲食店		72	51	21
4		百貨店・マーケット等		142	95	47
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの		5	2	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		287	194	93
6	イ	病院・診療所・助産所		54	35	19
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等		91	59	32
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等		145	93	52
	ニ	幼稚園・特別支援学校等		12	8	4
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等		24	14	10
8		図書館・博物館・美術館等		0	-	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等		0	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		2	-	2
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場		2	2	-
11		神社・寺院・教会等		35	19	16
12	イ	工場・作業場		168	97	71
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		0	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場		12	2	10
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫		0	-	-
14		倉庫		72	43	29
15		前各項に該当しない事業所		195	136	59
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物		300	184	116
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		156	94	62
16の2		地下街		0	-	-
16の3		準地下街		0	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等		0	-	-
18		延長50メートル以上のアーケード		0	-	-
19		市町村町長の指定する山林		0	-	-
20		総務省令で定める舟車		0	-	-

危険物施設別査察実施状況

施設区分	市別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数		178	120	58
製 造 所		2	2	-
貯 蔵 所		131	90	41
取 扱 所		45	28	17

11 1 1 9 番 等 通 報

(1) 119番通報受信状況

枚方市及び寝屋川市における総受信件数は59,112件（1日平均約162件）で、これは市民約11人に1人が119番等の通報をしたこととなります。

受信件数の内訳は火災通報259件（0.4%）、救急通報38,973件（65.9%）となっており両通報で全体の約66%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は2,693件（4.6%）で、引き続き、救急安心センターおおさか（＃7119）や大阪府救急医療情報センター（06-6693-1199）を活用し、119番通報での医療問い合わせを減らしていきたいと考えています。

また、いたずら・間違いなどの通報が4,783件（8.0%）もあり、実際の火災・救急通報の受信に支障を来すことも予想されることから、今後も、防火指導、救急講習等の広報活動を通じ「正しい119番の使用法」を啓発していく必要があります。

回線別の受信件数は固定電話の119番受信が22,832件（38.6%）で、携帯電話からの受信件数は28,931件（48.9%）となっています。

通報受信状況

内訳		種別	合計	内訳		
				固定電話	携帯電話	左記以外※1
合計			59,112	22,832	28,931	7,349
災害通報	合計		40,424	16,498	19,827	4,099
	火災通報		259	62	157	40
	救急通報		38,973	16,228	19,194	3,551
	救助通報		161	16	70	75
	その他通報		1,031	192	406	433
問合せ	合計		2,992	913	1,977	102
	火災・救急問合せ		299	71	137	91
	医療機関問合せ		2,693	842	1,840	11
その他	合計		15,696	5,421	7,127	3,148
	回線試験		766	96	13	657
	転送		663	23	629	11
	間違い		2,850	694	1,878	278
	悪戯		1,933	807	1,112	14
	上記以外※2		9,484	3,801	3,495	2,188

※1 加入電話、警察、転送、緊急通報等。

※2 緊急要請を必要としない内容、無言電話等。

(2) その他各種通報手段の状況

緊急通報システムからの通報は1,455件（2.5%）あり、聴覚障害者及び音声言語機能障害者の方々からのネット119（登録者数148人）からの通報は5件、eメール119（登録者数46人）による通報は0件で、緊急FAXからの通報は1件でした。

通報手段	件数	合計	枚方市	寝屋川市
緊急通報システム	設置件数	3,222	2,468	754
	通報件数	1,455	1,050	405
FAX119	通報件数	1	1	0
ネット119	設置件数	148	74	57
	通報件数	5	3	2
eメール119	設置件数	46	23	23
	通報件数	0	0	0

(1) 消防隊の活動状況

令和3年中の消防隊等が活動した事故件数は3,021件、出動車両台数は6,842台でした。これは、1日当りの平均災害発生件数が約8.3件で、1件の災害に対して平均2.3台の消防車両が出動したことになります。

火災件数133件のうち、建物火災が88件と最も多く、火災出動件数の約66.2%を占めています。

消防隊は、火災やその他の消防事故の災害現場にいち早く到着し、日頃の訓練で習得した技術や知識を十二分に発揮し、的確な消防活動を行うことにより、人命危険の排除及び被害の軽減を図っています。

災害分類・種別活動状況

区分	事故件数	出動台数	出動人員	放水件数	放水台数	活動時間
総 数	3,021	6,842	24,772	56	124	5,021 時間 46 分
火災	133	956	3,227	56	124	1,159 時間 50 分
建物火災	88	760	2,568	33	94	995 時間 48 分
林野火災	-	-	-	-	-	-
車両火災	15	62	210	9	11	57 時間 03 分
その他火災	30	134	449	14	19	106 時間 57 分
焼損事故	39	192	632			108 時間 04 分
その他消防事故	2,849	5,694	20,913			3,753 時間 51 分

消防署別活動状況

区分	事故件数	出動台数	出動人員	放水件数	放水台数	活動時間
総 数	3,021	6,842	24,772	56	124	5,021 時間 46 分
枚方署	1,032	2,285	8,312	20	43	1,634 時間 32 分
枚方東署	770	1,742	6,382	17	35	1,262 時間 41 分
寝屋川署	1,212	2,780	9,958	19	46	2,030 時間 39 分
管轄外	7	35	120			93 時間 53 分

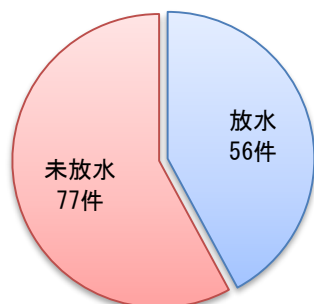
・活動時間については、出動から現場引き揚げ迄の時間です。

・活動隊については、救急隊を除く数字です。

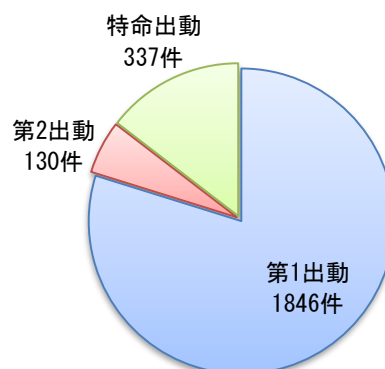
事故種別消防事故件数

出動件数	事故種別									
	虚誤報	警戒	救助	ガス漏れ	油類漏れ	吹鳴事故	管外応援	風水害	PA連携	その他
2,849	126	60	2	7	140	503	4	23	1,875	109

放水件数比



出動件数比



(2) 消防水利

本消防組合管内の消防水利の大部分は、人工水利の消火栓 (96%) が占めています。

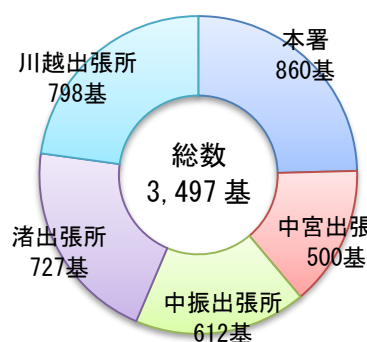
消火栓は簡易に使用でき、連続的に給水しますが、水道配管路に設置されているため、配管口径による給水量の制約、断・減水時の使用不能等の弱点があります。これをカバーするために、開発行為の機会をとらえ、防火水槽の設置を要請するなど、消防水利の確保に努めています。

区分 署別	総 数	消火栓			防火水槽 (㎡)			その他の水利			
		小計	公設	私設	小計	公設	私設	小計	プール	河川池	その他
総 数	10,380	9,422	9,004	418	623	130	493	335	125	144	66
枚 方 署	3,830	3,497	3,349	148	240	34	206	93	45	13	35
枚 方 東 署	3,342	2,987	2,909	78	207	52	155	148	34	107	7
寝 屋 川 署	3,208	2,938	2,746	192	176	44	132	94	46	24	24

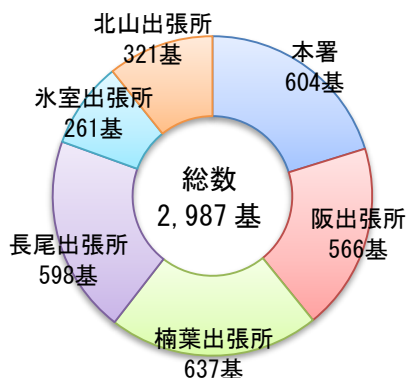
※ 防火水槽寸法 (容量) が 20 ㎡未満のものは含みません。

署所別の消火栓設置状況

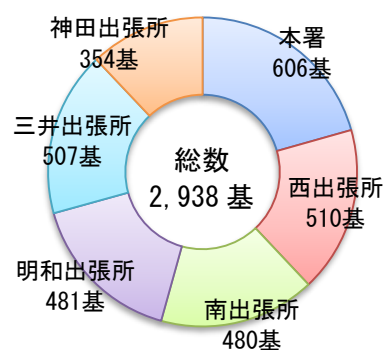
枚方消防署



枚方東消防署



寝屋川消防署



13 火 災 概 況

(1) 火災概況

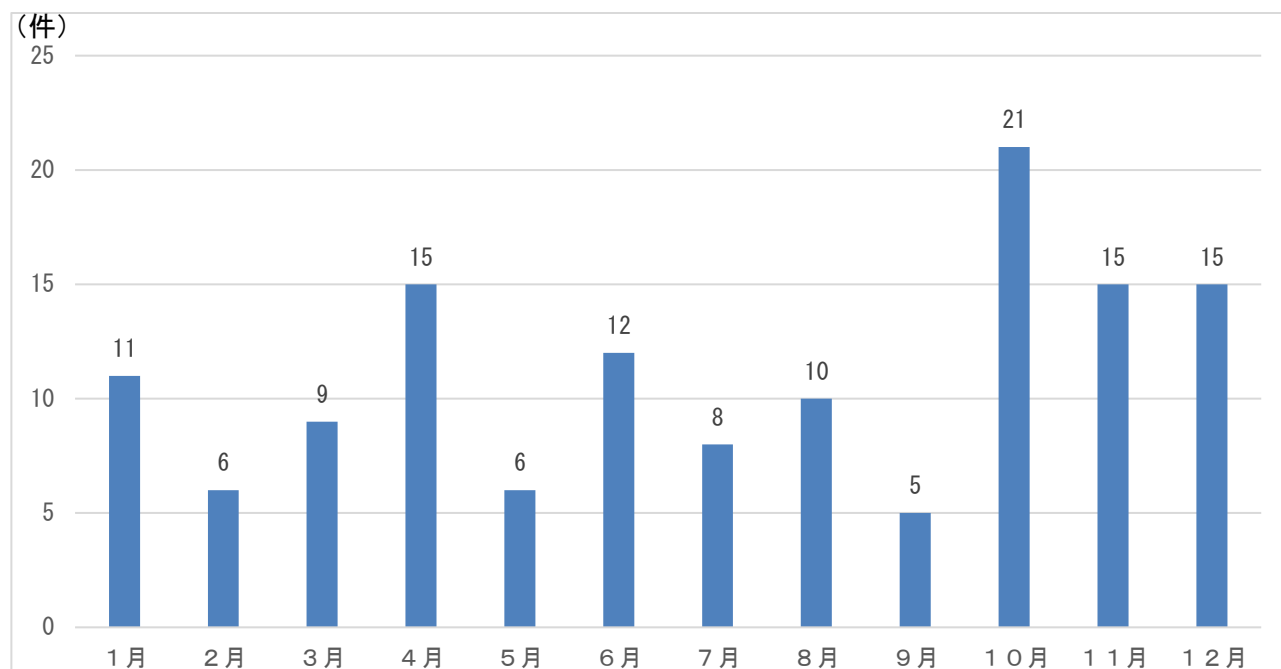
令和3年中における火災件数は133件で、前年と比べ14件減少しています。

市別で見ますと、枚方市は81件（枚方署47件・枚方東署34件）で前年より17件（17.3%）減少し、寝屋川市は52件で前年より3件（5.8%）増加しています。

区 分 署 別	火災種別（事後聞知含む）							焼損棟数					爆 発 棟 数	り災世帯数			
	火災 件数	うち 爆発	建 物	林 野	車 両	その他		合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		合 計	全 損	半 損	小 損
						枯 草 等	そ の 他										
総 数	133	0	88	0	15	9	21	120	9	3	23	85	0	95	13	1	81
枚 方 署	47	－	27	－	9	3	8	44	2	－	8	34	－	33	3	1	29
枚 方 東 署	34	－	20	－	2	5	7	27	3	1	5	18	－	22	5	－	17
寝 屋 川 署	52	－	41	－	4	1	6	49	4	2	10	33	－	40	5	－	35

(2) 月別火災件数

出火件数を月別で見ますと、最多出火月は10月の21件（15.8%）、次いで4月、11月及び12月の15件（11.3%）、6月の12件（9.0%）と続いており、最少出火月は9月の5件（3.8%）となっています。



(3) 死傷者・損害状況

火災による死者数は、1人（枚方市1人、寝屋川市0人）で前年より5名減少しています。

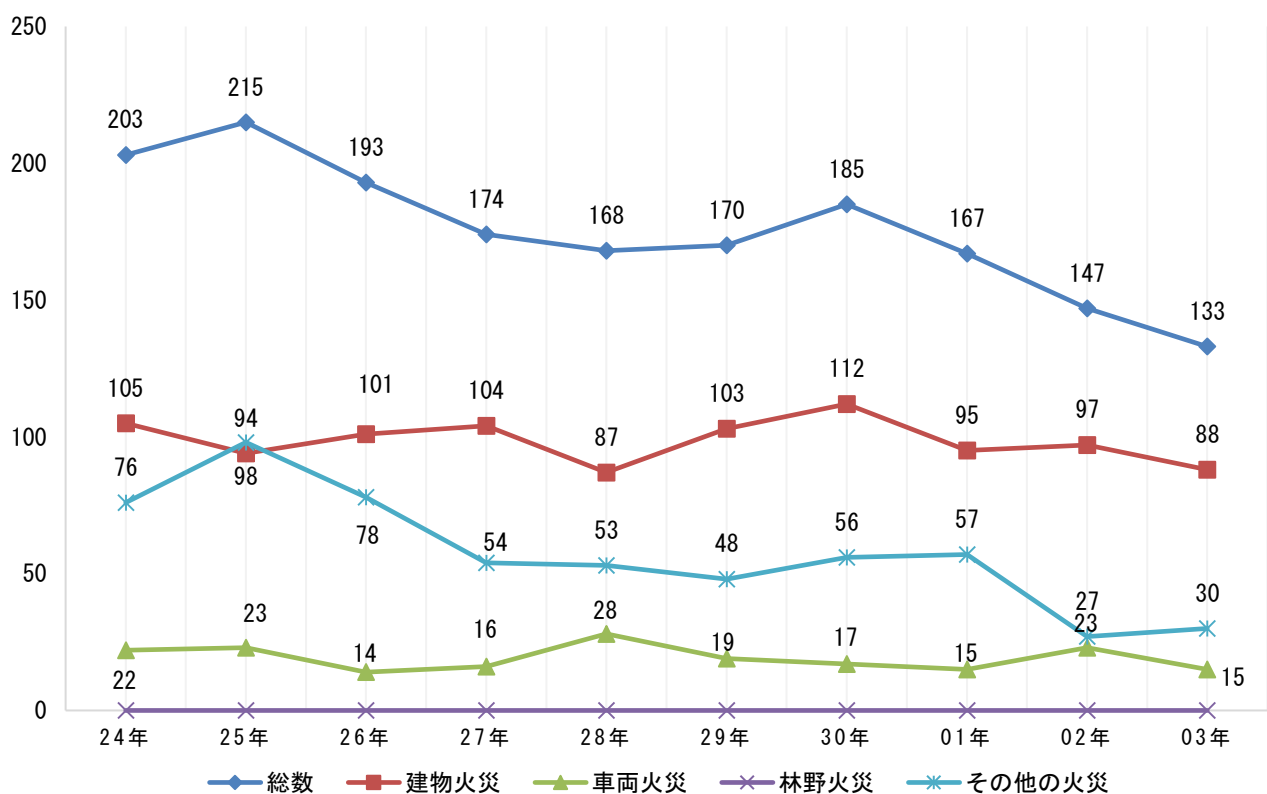
火災による負傷者数は、33人（枚方市20人、寝屋川市16人）で前年より9人（枚方市で7人減少、寝屋川市で5人）減少しています。

区分 署別	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 額 （千円）	焼損面積		1ヶ月当たり					
					建物 床 （㎡）	林 野 （a）	火災 件数 （件）	（建物 火災 件数 件）	焼 損 棟 数 （棟）	死者 数 （人）	（建物 焼損 床面積 ㎡）	損 害 額 （千円）
総 数	167	1	33	148,741	1,484	0.1	11.1	7.3	10	0.1	123.7	12,395.1
枚 方 署	60	1	10	98,661	468	－	3.9	2.3	3.7	0.1	39	8,221.8
枚 方 東 署	39	－	7	18,776	404	0.1	2.8	1.7	2.3	－	33.7	1,564.7
寝 屋 川 署	68	－	16	31,304	612	－	4.3	3.4	4.1	－	51	2,608.7

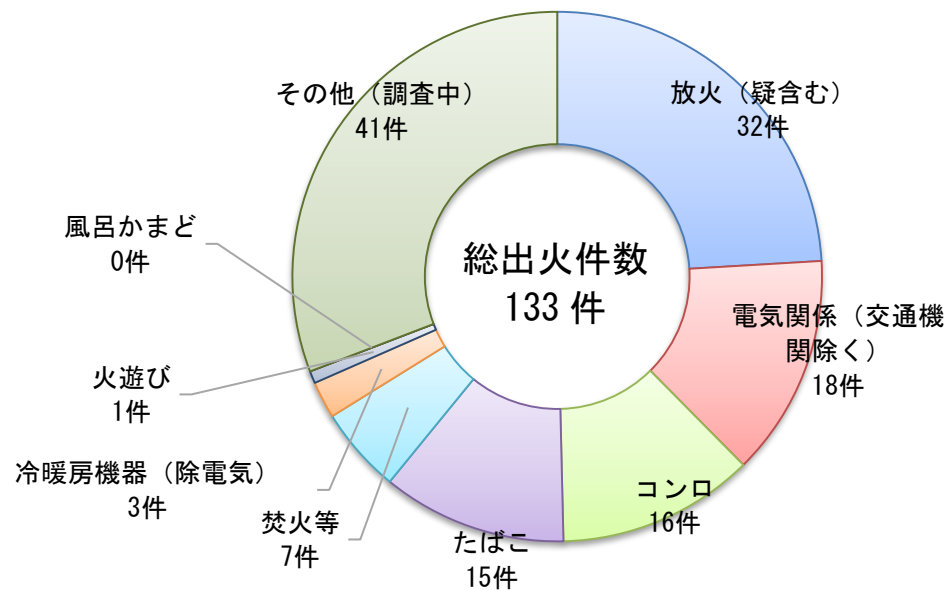
(4) 過去10年間の火災発生状況

過去10年間の本消防組合管内における火災件数は、平成25年の215件がピークで、ここ数年減少傾向にあります。

令和3年の火災件数は133件（前年比14件減少）、内訳は建物火災件数88件（前年9件減少）、車両火災15件（前年比12件減少）、その他火災30件（前年比3件増加）となっています。



(5) 出火原因



主な出火原因としては、「放火(疑い含む)」が32件(24.1%)、「電気関係(交通機関除く)」が18件(13.5%)、「コンロ」16件(12.0%)、「たばこ」が15件(11.3%)の順となっています。

原因 \ 年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31/元年	2年	3年
総 数	203	215	193	174	168	170	185	167	147	133
放火(疑い・自損含)	79	89	74	55	43	35	40	48	22	32
電気関係(除交通機関)	10	15	18	17	22	27	26	15	32	18
たばこ	22	27	17	26	18	26	20	21	13	15
こ ん ろ	22	23	20	22	16	20	24	27	16	16
焚 火 等	6	9	7	4	9	8	9	8	9	7
冷暖房機器(除電気)	5	7	5	6	5	3	5	3	6	3
火 遊 び	9	11	12	3	5	4	4	4	2	1
風 呂 か ま ど	—	2	1	—	—	1	1	—	1	—
その他(調査中・不明含)	50	32	39	41	50	46	56	41	46	41

※ その他には、静電気、衝突の火花、排気ダクト等が含まれます。

(1) 救急件数の動向

令和3年中の救急出動件数は35,877件で、枚方市が21,205件、寝屋川市が14,553件、管轄外（第二京阪道路や交野市へのドクターカー出動）が119件となっています。

過去10年間の出動件数及び搬送人員は、平成24年から令和元年まで右肩上がりに増加していましたが、令和2年は8.4%減少しました。しかし、令和3年は微増となっています。

人口に対する搬送者の比率は、昭和43年は100人に1人でしたが、令和3年は約18人に1人が救急車を利用したことになり、救急需要が高まっています。

過去10年間の出動件数の推移

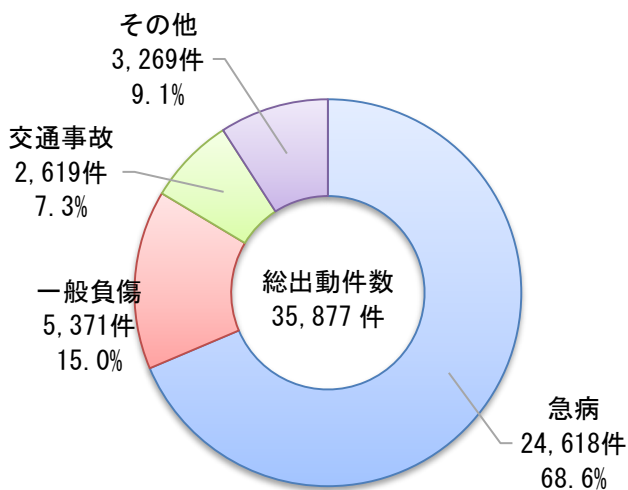
	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31/元年	2年	3年
総計	30,357	31,364	32,422	32,863	33,577	35,356	37,751	37,927	34,732	35,877
枚方市	18,080	18,688	19,193	19,669	20,159	21,105	22,513	22,723	20,845	21,205
寝屋川市	12,257	12,643	13,191	13,161	13,362	14,140	15,100	15,075	13,780	14,553
管轄外	20	33	38	33	56	111	138	129	107	119

(2) 救急活動状況

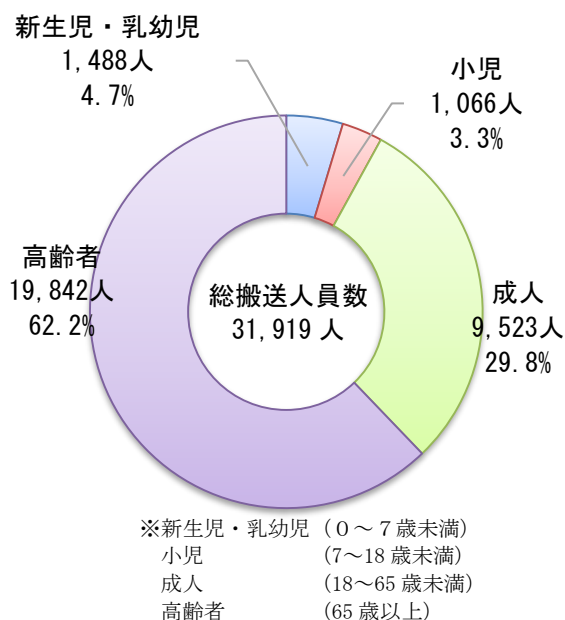
令和3年中の救急活動状況をみると、出動件数35,877件・搬送人員31,919人で、前年に比べ出動件数が1,145件（+3.3%）、搬送人員が1,011人（+3.3%）増加しました。消防組合全体では、1日平均約98.3件で、1時間に4.1件の割合で出動したことになり、救急隊1隊あたりの1日の出動は平均して5.8件でした。

救急出動件数を事故種別ごとに見ると、第1位が急病、第2位が一般負傷、第3位が交通事故となっています。搬送人員を年齢区分別ごとに見ると、高齢者が多く、全体の約62%を占めています。

事故種別活動状況



年齢区分別搬送人員状況



(3) 救命率の向上

令和3年中の枚方寝屋川消防組合応急手当の普及啓発活動に関する要綱に基づく救命講習の実施回数は257回で受講者数が8,321人、うち、普及員が実施した人数は1,652人でした。

普及啓発用資器材の状況は、蘇生訓練用人形の成人用、小児用、乳児用及びAEDトレーナーを常備しており、応急手当の普及に寄与しています。その他、各署に高度救急処置シミュレーター等を整備し、指導技術の向上を図っています。

救命講習会実施回数及び受講者数（署別）

署別	区分	実施回数	対象人員
総	数	257 回	8,321 人
枚方署（本部含）		158 回	6,711 人
枚 方 東 署		40 回	550 人
寝 屋 川 署		59 回	1,060 人

上記のうち普及員実施分

署別	区分	実施回数	対象人員
総	数	115 回	1,652 人
枚方署（本部含）		56 回	837 人
枚 方 東 署		22 回	224 人
寝 屋 川 署		37 回	591 人

講習会別実施回数及び受講者数

講習会名	区分	令和3年	
PUSH～いのちの授業		54 回	5,275 人
普通救命講習会		95 回	1,007 人
救命入門コース		48 回	964 人
普及員講習会		1 回	14 人
普及員再講習会		4 回	65 人
上級救命講習会		0 回	0 人
応急手当指導員講習会		17 回	27 人

一般市民が救急車到着までに実施した主な応急処置数

	計	胸骨圧迫 心肺蘇生	止血	保温	除 細 動 (A E D)	そ の 他 ※
組合管内	227	153	30	8	5	31

※その他は、被覆、固定、人工呼吸等

(4) 「救急安心センターおおさか」

本消防組合では、大阪市の事業として平成 21 年 10 月から運用されている「救急安心センターおおさか」に平成 22 年 4 月から府下 13 消防本部とともに参画し、平成 23 年 4 からは府下全消防本部が参画しています。

	組合合計	枚方市	寝屋川市
救急車の必要があったもの	420	261	159
医 療 相 談	6,598	3,862	2,736
応 急 手 当 指 導	－	－	－
医 療 機 関 問 合 せ	5,662	3,139	2,523
苦 情	－	－	－
誤 接	－	－	－
い た ず ら	－	－	－
そ の 他	500	272	228
合 計	12,760	7,273	5,487

※ その他には、各種相談や問い合わせ等が含まれます。

(5) ドクターカー事業

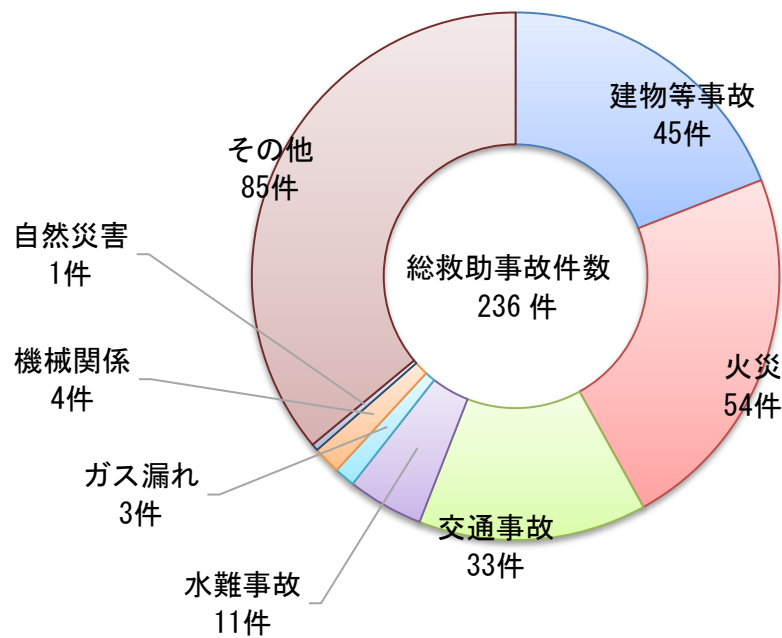
高齢化の急速な進展などにより、救急件数は増加傾向にあり、また、救急搬送で病院到着までに時間がかかる現状です。今後も高齢化が一段と進む中、救急出動件数は、更に増加することが予想されます。こうした背景に伴い、救急医療体制を一層充実させ、救命処置等を必要とする傷病者が発生した救急現場に一刻も早く医師が出場して医療行為を行うことにより、地域住民の救命率及び社会復帰率の向上並びに処置後の良好な改善を図ることを目的として、関西医科大学附属病院高度救命救急センターと連携し、平成 29 年 4 月からドクターカーの運用を実施しています。

	枚方市	寝屋川市	管外
ドクターカー出動件数	194	128	35

15 救

助

令和3年中に救助隊が出動した事故件数は236件であり、前年と比較すると19件（7.5%）減少しています。また、救助人員は71人であり、前年と比較すると47人（39.8%）減少しています。



救助人員内訳

総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	負傷無し
71 人	16 人	2 人	17 人	21 人	12 人	3 人

事故種別活動状況

区 分 市 別	総 数	火 災	救 助 事 故							
			交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス	破 裂	そ の 他
総 数	236	54	33	11	1	4	45	3	0	85
枚 方 市	137	30	20	3	1	1	28	1	-	53
寝 屋 川 市	90	24	10	2	-	3	17	2	-	32
管 外	9	-	3	6	-	-	-	-	-	0

16 消 防 団 の 概 況

区分 市別・分団別		消 防 団 員								消 防 機 械			
		総 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	総 数	ポン プ 車	小型動力ポンプ積載車	小型動力ポンプ
総 数		823	2	10	18	18	31	82	662	83	2	74	7
枚 方 市	小 計	455	1	6	11	11	31	49	346	51	1	43	7
	本部事務局	7	1	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	枚方分団	24	-	-	1	1	3	4	15	2	1	1	-
	蹠跚分団	32	-	-	1	1	3	4	23	4	-	4	-
	川越分団	35	-	-	1	1	3	4	26	4	-	4	-
	山田分団	41	-	-	1	1	3	7	29	7	-	7	-
	殿一分団	39	-	-	1	1	3	8	26	5	-	5	-
	殿二分団	56	-	-	1	1	3	6	45	4	-	4	-
	樟葉分団	39	-	-	1	1	3	4	30	4	-	4	-
	津田分団	59	-	-	1	1	3	4	50	6	-	4	2
	菅原分団	53	-	-	1	1	3	3	45	7	-	5	2
	氷室分団	52	-	-	1	1	3	3	44	6	-	3	3
	女性分団	18	-	-	1	1	1	2	13	1	-	1	-
寝 屋 川 市	小 計	368	1	4	7	7	0	33	316	32	1	31	-
	団本部	5	1	4	-	-	-	-	-	0	-	-	-
	第1南分団	53	-	-	1	1	-	6	45	6	-	6	-
	第1北分団	53	-	-	1	1	-	6	45	6	-	6	-
	第2分団	89	-	-	1	1	-	7	80	7	-	7	-
	第3分団	58	-	-	1	1	-	5	51	5	-	5	-
	第4分団	51	-	-	1	1	-	4	45	4	-	4	-
	第5分団	44	-	-	1	1	-	4	38	4	1	3	-
	女性分団	15	-	-	1	1	-	1	12	0	-	-	-

あなたに安心を届けたい！

枚方寝屋川消防組合ホームページ

<http://www.hnfd119.jp/>



住宅用火災警報器普及啓発
PRキャラクター「枚寝カンチ」

枚方寝屋川消防組合では、住宅火災での逃げ遅れによる死亡を無くするため、住宅用火災警報器設置促進と維持管理の普及啓発を推進しています。

各種イベントや防火教室等に「枚寝カンチ」が参加し、住宅用火災警報器の認知度の向上や点検方法、交換時期の周知に努めています。

ひらね119

(令和4年 刊行)

発行 枚方寝屋川消防組合消防本部

編集 総務部企画戦略課

枚方市新町1丁目7番11号

072 (852) 9907
